

近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事



株式会社 創建設計

since1966

特記仕様書

1

工事概要

1. 工事名称
2. 工事場所
3. 工事内容
4. 工事期限

近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事
大阪府寝屋川市高宮栄町12番1
Ⓐ 吹抜部照明 取替工事
令和 8年 3月 31日

2

一般事項

1. 適用
2. 係員
3. 疑義
4. 工程表及び施工計画書
5. 施工の立会い検査
6. 施工図
7. 日報
8. 竣工検査
9. 引渡
10. 工事写真及び完成写真
11. 竣工図
12. 保証

本工事は図面及び特記仕様書による他、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）』（最新版）及び建築工事標準詳細図（最新版）に従い施工する。又、電気設備工事に於いては、別途内線規程を遵守する事。
この仕様書でいう係員とは別途通知の総括監督員とする。
設計図書の内容に相違のある場合及び明記無き場合又は疑義を生じた場合は全て係員の指示による。
着工に先立ち工程表と共に、仮囲い等の仮設設備、材料置場などについて施工計画書を作成し係員の承諾を受ける。
工事が係員の指示した工程に達したとき係員の検査を受け合格・承諾を得た後、次の施工に移る。
各工事において施工上必要な施工図・現寸図は遅滞なく作成して、係員の承諾を受けた後施工する。
工事期間中毎日記載し、作業の無い日はその旨を記載する。また、提出を求めた場合は、遅滞なく求められた日までの全てを提出する。
工事完了後、係員による完了検査を行う。その際指摘の手直し並びに残工事を完了の上、指定期日に監督・検査職員による竣工検査を受ける。
引渡に際しては施工に関連した図書を提出する。内容は係員の指示による。
工事写真はサービス版以上にて工程順・工種別に作成の上、完了書類に添付し、2部提出する。完成写真は竣工後、キャビネ版（カラー）2箇所以上、サービス版（カラー）4箇所以上をアルバム形式にて別冊で工事名等を付し、2部提出する。
工事完了後、遅滞無く竣工図を作成し提出する。特に指示の無い限り、A3縮小サイズを製本にて3部、図面等電子データ（PDF形式及びJWW形式、DWG形式又はDXF形式のうち別途指示した形式）を1部電子媒体にて提出する事。
工事施工中、調査不足・養生の不備等により、生じた破損及び故障箇所は直ちに施工者の責において完全に修理する。
また、工事竣工引渡後、施工上の欠陥、あるいは使用材料の不良により生じた破損及び故障箇所も同様に直ちに無償にて修理する。
但し、契約書又は特記に保証期間明記のものはそれによる。

3

共通事項

本工事は下記の設計図書に基づき施工する。その適用にあたっての優先順位は下記の番号順とする。
(1) 質疑回答書 (2) 現場説明事項 (3) 特記仕様書 (4) 設計図書 (5) 共通仕様書（上記一般事項2－1）による
本工事は改修工事につき、既設部分への影響を考慮し、工事着手前に既設図面及び現地調査等を充分に行うこと。又、工事部分に影響が考えられる場合は、係員に報告の上別途協議すること。
工事の施工に必要な官公署・その他公的な手続きは全て、施工者が費用を負担して速やかに行う。
工事全般および資材の搬入、搬出については検査業務休日（土、日、祝）のみで行う。
建設産業廃棄物の搬出に当たっては、産業廃棄物管理票を交付し、最終処分の完了を確認する事。
工事作業完了後は毎回当該工事範囲内の全ての床面の清掃を行う。
工事期間中、警備員を1人配備する。検査業務休日の10日間（8時～17時）とし、配備日程は事前に担当官より通知する。
設計図書にて記載の使用機材の調達については、メーカー直販又は流通経路が明確なメーカー認定の正規代理店を通じ購入、納入する事。
本工事の為の現場事務所は不要とする。

Ⓐ 吹抜部照明
取替工事

照明本体及び周辺機器並びにその配線、配管は別紙電気設備特記仕様書及び図面による。
工事範囲の既設の昇降式ダウンライト照明（計12ヶ所）、非常照明（計3ヶ所）及び機器一式、附属金物一式は全て撤去とし、法令を遵守して適正に処分すること。
配線は既存利用可能な箇所は利用し、やり替えが必要な箇所は協議の上、決定とする。
既設の昇降スイッチにはSUS製カバープレートを設けること。また、昇降スイッチの配線はBOX内に存置の上、納めておくこと。

使用資材・メーカー

使用材料は原則、製品サンプル・色見本・製品カタログ等係員が指定するものを提出し承諾を得た物を使用する事。

工事名		近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事		工事番号	
				25.	11.
図面名		特記仕様書		—	01

株式会社 創建設計

近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事

仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

大阪府堺市川市高宮栄町12番1

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一 (15項)	備 考
庁舎	R C造	2階建			

(注) 延面積は建築基準法による表記

3. 工事項目 (O印の付いたものを適用する)

建築物及び屋外	工 事 種 別				
工 事 種 目	庁舎				屋 外
O炬灯設備	一式				
・動力設備					
・電動設備					
・送電設備					
・受変電設備					
・静止形電源設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・放声設備					
・誘導支援設備					
・呼び設備					
・テレビ共用受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・火災感知設備					
・中央監視制御設備					
・ 構内通信線路					
・ 構内配電線路					
・ 構内外灯線路					
・撤去工事					

4. 指定部分

・無

・有 ()

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官署庁舎建築部の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (平成19年版) 及び電気設備改修工事共通仕様書 (平成19年版) 並びに国土交通省大臣官署庁舎建築部設備課の電気設備工事標準図 (平成19年版) による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 なお、機械設備工事の工事仕様書は (/) 図、建築工事の工事仕様書は (/) 図による。

2. 特記仕様

(1) 項目は番号にO印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項において選択する事項は、O印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、同等のものとす。ただしこれらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
② 電源周波数	・50Hz ・ 60 Hz
③ 電気工作物の種類	・事業用電気工作物 ・ ⑩ 用電気工作物
④ 電気保安技術者	<input checked="" type="radio"/> 適用する ・適用しない
5 電気工士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工士により施工を行うものとする。
⑥ 工 事 用 電 力 水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
⑦ 監督員事務所	<input checked="" type="radio"/> 設けない ・設ける
⑧ 工事用設備物	すべて請負者の負担とする。 構内につくることが ・<input checked="" type="radio"/>⑨ ・できない
⑨ 足場、さん橋	・別契約の関係請負者が設置したものは、無償で利用できる。 ・本工事で設置とする。 ③修工事の場合は、改修共通仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。 ・内部仮設足場等 (・種 ・種) ・外部仮設足場等 (・種 ・種)

項 目	特 記 事 項																																																																													
① 完成図等	<input checked="" type="radio"/> 完成図等をC A Dで提出する場合の保存形式及び保存媒体は監督職員の指示による。 ・既存完成図 (C A Dデータ) の修正を行う。																																																																													
① ① 工事写真	建設大臣官署庁舎建築部監修の「工事写真の撮り方 (改訂第2版) 建築設備編」による。																																																																													
② 発生材の処理	1) 引渡しを要するもの ・有 () 2) 引渡しを要するもの以外 ・構外搬出とし、搬出及びその処理費は別途とする。 3) 特別管理産業廃棄物 ・有 (P C B使用機器 () P C B使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。 4) 再利用又は再資源化を図るもの ・有 ()																																																																													
1.3 残土処理	・現場説明書による。 ・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。																																																																													
④ 財源施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 (最新版) 」(建設省住宅局建築指導課監修) により、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。なお設計用水平地震力、設計用鉛直地震力は下記による。 1) 設計用水平地震力 設計用水平地震力は機器の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 設計用水平震度 <table><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th>・ 特定の施設 (甲種・乙種)</th><th colspan="2">一般機器・水槽</th><th>・ 一部の施設 (乙種)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階の天井以上</td><td>2. 0 (2. 0)</td><td>1. 5 (2. 0)</td><td>1. 5 (2. 0)</td><td>1. 0 (1. 5)</td></tr><tr><td><2. 0></td><td><1. 5></td><td><1. 5></td><td><1. 0></td></tr><tr><td>1階天井～上層階の床</td><td>1. 5 (1. 5)</td><td>1. 0 (1. 5)</td><td>1. 0 (1. 5)</td><td>0. 6 (1. 0)</td></tr><tr><td></td><td><1. 5></td><td><1. 0></td><td><1. 0></td><td><0. 6></td></tr><tr><td>1階の床以下</td><td>1. 0 (1. 0)</td><td>0. 6 (1. 0)</td><td>0. 6 (1. 0)</td><td>0. 4 (0. 6)</td></tr><tr><td></td><td><1. 5></td><td><1. 0></td><td><1. 0></td><td><0. 6></td></tr></tbody></table> (注) () 内の数値は防護支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 重要機器 ・配電盤 ・自家発電装置 ・交流無停電電源装置 ・直流電源装置 ・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視装置 上層階の定義は次による。 6階建以下の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。 2) 設計用鉛直地震力 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同様に働くものとす。 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線系統は、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上P F管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1. 2mm以上の保護設備を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ①屋外 ・ ② (鋼合ペイント) 蛍光灯器具 (誘導灯は除く。) の安定器の回路方式、電圧は図面に記載なき場合は次による。 <table><thead><tr><th></th><th>蛍光灯の種類</th><th>回路方式</th><th>電 圧</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="6">環 形</td><td>15形以下</td><td>P T</td><td>100V</td></tr><tr><td>20形</td><td>G L</td><td>100V</td></tr><tr><td rowspan="4">直管形</td><td>20形 防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵形非常用照明器具</td><td>G L</td><td>100V</td></tr><tr><td>20形 上記以外のもの</td><td>G H</td><td>100V</td></tr><tr><td>30形</td><td>G H</td><td>100V</td></tr><tr><td>40形及び110形</td><td>R H</td><td>V</td></tr><tr><td rowspan="2">コンパクト形</td><td>27ワット以下</td><td>E L</td><td>100V</td></tr><tr><td>36ワット以上</td><td>P N</td><td>100V</td></tr><tr><td rowspan="2">H I 形</td><td>図面に記載のない場合</td><td>P H</td><td>V</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 測定5箇所以上 遠方操作用押しボタンは、運用形とする。 図面に特記なき場合は、コンセント2P15A (接地極付) は、プラグ不要とする。 ・外部固定 ・内部固定 ・上下動形 フロアベースは、水平高低調整機能付 (回転防止リング付) とする。 フラッシュプレート ・ 金 ・樹脂製 フロアプレート ・砲金製 ・アルミ合金製	設置場所	耐震安全性の分類				・ 特定の施設 (甲種・乙種)	一般機器・水槽		・ 一部の施設 (乙種)	上層階の天井以上	2. 0 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)	<2. 0>	<1. 5>	<1. 5>	<1. 0>	1階天井～上層階の床	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)		<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>	1階の床以下	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)		<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>		蛍光灯の種類	回路方式	電 圧	環 形	15形以下	P T	100V	20形	G L	100V	直管形	20形 防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵形非常用照明器具	G L	100V	20形 上記以外のもの	G H	100V	30形	G H	100V	40形及び110形	R H	V	コンパクト形	27ワット以下	E L	100V	36ワット以上	P N	100V	H I 形	図面に記載のない場合	P H	V				
設置場所	耐震安全性の分類																																																																													
	・ 特定の施設 (甲種・乙種)	一般機器・水槽		・ 一部の施設 (乙種)																																																																										
上層階の天井以上	2. 0 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)																																																																										
	<2. 0>	<1. 5>	<1. 5>	<1. 0>																																																																										
1階天井～上層階の床	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)																																																																										
	<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>																																																																										
1階の床以下	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)																																																																										
	<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>																																																																										
	蛍光灯の種類	回路方式	電 圧																																																																											
環 形	15形以下	P T	100V																																																																											
	20形	G L	100V																																																																											
	直管形	20形 防雨形器具、防湿形器具及び電池内蔵形非常用照明器具	G L	100V																																																																										
		20形 上記以外のもの	G H	100V																																																																										
		30形	G H	100V																																																																										
		40形及び110形	R H	V																																																																										
コンパクト形	27ワット以下	E L	100V																																																																											
	36ワット以上	P N	100V																																																																											
H I 形	図面に記載のない場合	P H	V																																																																											
1.9 非常用の照明 装置の照度測定 箇所数																																																																														
2.0 電磁開閉器用 押しボタン																																																																														
2.1 コンセント																																																																														
2.2 ｵｰﾄﾅｯﾄｱﾌｧｲﾅｯﾄ																																																																														
2.3 フロアベース																																																																														
④ プレート の材質																																																																														

⑩ 取付高さ

2.5 ｵｰﾄﾅｯﾄｱﾌｧｲﾅｯﾄ

2.6 保安器用接地

2.7 地中線の埋設機

2.8 天井仕上り表示

2.9 接地極

⑩ 取付高さ

一般用 備

・本工事 ・別途

構内線路における埋設機材及びその数量は、図面に記載のない場合は次による。
・鉄製 (箇所) ・コンクリート製 (箇所)
図面において、室名に () を付したものは直天井の、それ以外は二重天井の室を示す。
接地極の材料は下記による。なお、接地棒E B (14φ) の長さは1500mm以上とし、10φ、14φは、W=40としてよい。

・ 接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共同接地	E A、D	Ω以下	E B (14φ) ×3連ー 組
・ 共同接地	E A、C、D	Ω以下	E B (14φ) ×3連ー 組
・ A種接地	E A	10Ω以下	E B (14φ) ×3連ー2組
・ B種接地	E B	30Ω以下	E B (14φ) ×3連ー2組
・ D種接地	E D	100Ω以下	E B (10φ) ×1 (L=1500mm)
・ C種接地	E C	Ω以下	E B (14φ) ×3連ー 組
・ 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B (14φ) ×3連ー2組
・ 低圧避雷器	E L L	10Ω以下	E B (14φ) ×3連ー2組
・ 避雷設備	E L	10Ω以下	E B (14φ) ×3連ー 組
・ 交換機用	E t	Ω以下	E B (14φ) ×3連ー 組
・ 通信用	E t t	10Ω以下	E B (14φ) ×3連ー2組
・ 通信用	E C t	100Ω以下	E B (10φ) ×1 (L=1500mm)
・ 測定用	E 0		E B (10φ) ×1 (L=1000mm)

壁形、壁掛けの機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高 (mm)
ブラケット (一般)	床面～中心	2. 100
＃ (壁掛け)	＃	2. 500
＃ (上壁)	壁上面～中心	1. 50
避難口誘導灯	床面～下端	1. 500 以上
廊下通路誘導灯	床面～上端	1. 000 以下
スイッチ (一般)	床面～中心	1. 300
＃ (身体障害者用)	＃	1. 100
コンセント、電話用ｼｬｰｼﾞ、直列ｼｬｰｼﾞ (一般)	＃	300
＃ (浴室)	＃	150
＃ (台所)	台面～中心	150
コンセント (車庫)	床面～中心	800
引込開閉器箱 (低圧)	床面～上端	1. 500
分電盤、制御盤、実験盤	床面～中心	1. 500 (上端1. 900以下)
開閉器箱	＃	1. 500
電磁開閉器押しボタン	＃	1. 300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
避雷接地用端子箱	床面～下端	800
接地極埋設機	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1. 000
室内端子盤 (廊下・室内)	床面～下端	300
中間端子盤 (E P S・電気室)	床面～中心	1. 500
腕時計	＃	1. 500 (上端1. 900以下)
子時計、スピーカ	＃	(天井高) × 0. 9
アタッチネータ	＃	1. 300
出退席センサー	＃	(天井高) × 0. 9
発信器 (出退席表示)	＃	1. 300
インターホン	＃	1. 500
身体障害者専用インターホン機	＃	1. 100
押しボタン (身体障害者用)	＃	900
復帰ボタン (〃)	＃	1. 800
廊下表示灯 (〃)	＃	2. 000
テレビ機収容箱	＃	1. 800
火報受信機 (複合型)	床面～操作部	800～1. 500
計受信機	床面～中心	1. 500
自動報警機収容箱	＃	800～1. 500
発信機	＃	800～1. 500
警報ベル	＃	(天井高) × 0. 9
表示灯	＃	(天井高) × 0. 8
運動制御器 (自動開閉)	＃	1. 500
ガス漏れ検知器 (L Pガス)	＃	300
＃ (都市ガス)	天井面～中心	(天井高) ～ 200

(備考) (天井高) ×0. 9及び(天井高) ×0. 8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
工事区分表 (平成19年版) による。ただし、これにより異なる場合は監督職員と協議する。
・施工計画調査
調査項目 ()
調査範囲 (/) 図による
調査方法 (/) 図による
・事前調査
調査項目 ()
調査範囲 (/) 図による
調査方法 (/) 図による
仮設備項目 (・ ・ ・)
仮設備期間 (・ ・ ・)
養生範囲 (/) 図による
養生方法 (/) 図による

3.6 電線類

EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記 号	仕 様
EM-E B T	E B T (電子ボタンケーブル) に準じ、シースにJ C S規格によるEMケーブルの耐熱性ポリエチレンを用いたもの
EM-U T P	J I S X 5150 (U P P) に準じ、シースにJ C S規格によるE P P-ﾌﾞﾙの耐熱性# 15ﾌｨﾝを用いたもの
EM-C E E-S	J I S X 4258 D (制御用ケーブル (通へい付)) に準じ、絶縁材及びｼｰｽにJ C S規格によるE P P-ﾌﾞﾙの耐熱性# 15ﾌｨﾝを用いたもの
EM-M E E-S	J I S Z 71 (M V S) に準じ、ｼｰｽにJ C S規格によるE P P-ﾌﾞﾙの耐熱性# 15ﾌｨﾝを用いたもの

設備機材等指定表 (電気の部)

(1) (社) 公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
(2) 使用する機材が設備機材等指定表による製造業者等のものである場合は、共通仕様書第1編第1章第4節1. 4. 1 (b) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することが出来る。
ただし、共通仕様書に規定される製作者、試験成績書等は除く。
(3) 製造業者等は50音順とし、「株式会社」等の記載は (株) と省略する。

品 目	機 材 名	適 用 範 囲	製造業者等名
			国土交通省大臣官署庁舎建築部 監修「建築材料・設備機材等 品質性能評価事業設備機材等 評価名簿 (平成19年版) 」による。

工 事 名

近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事

工事番号

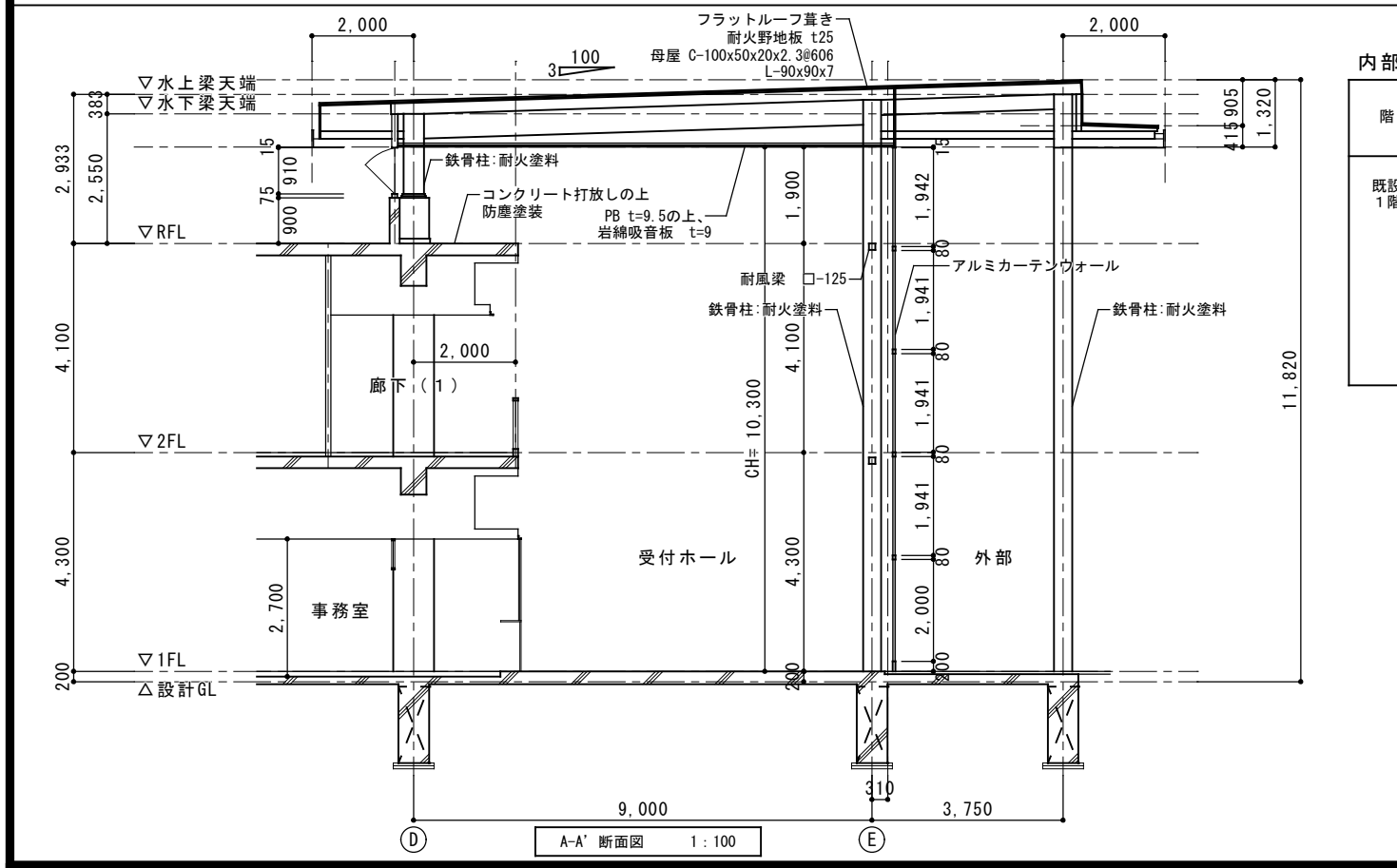
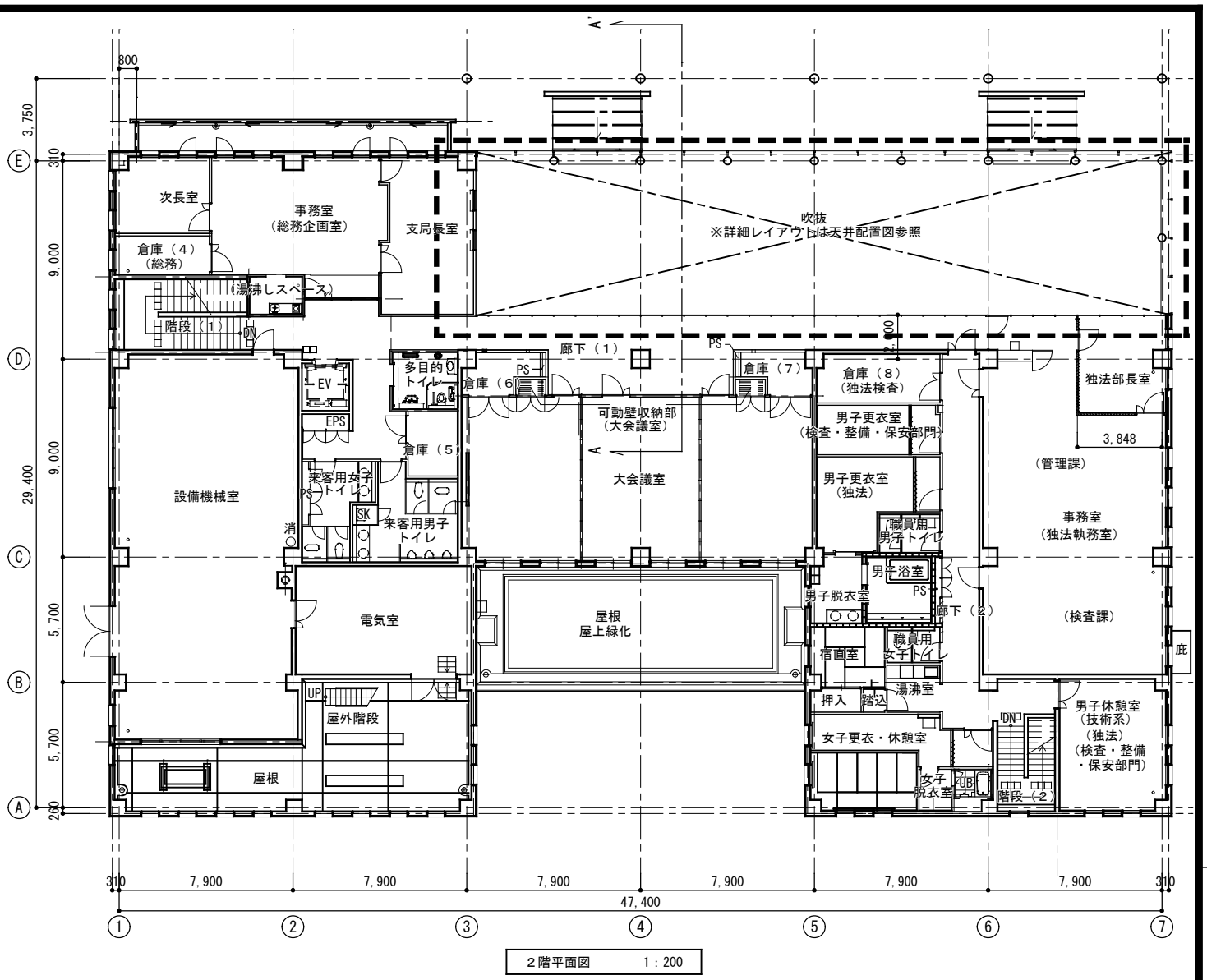
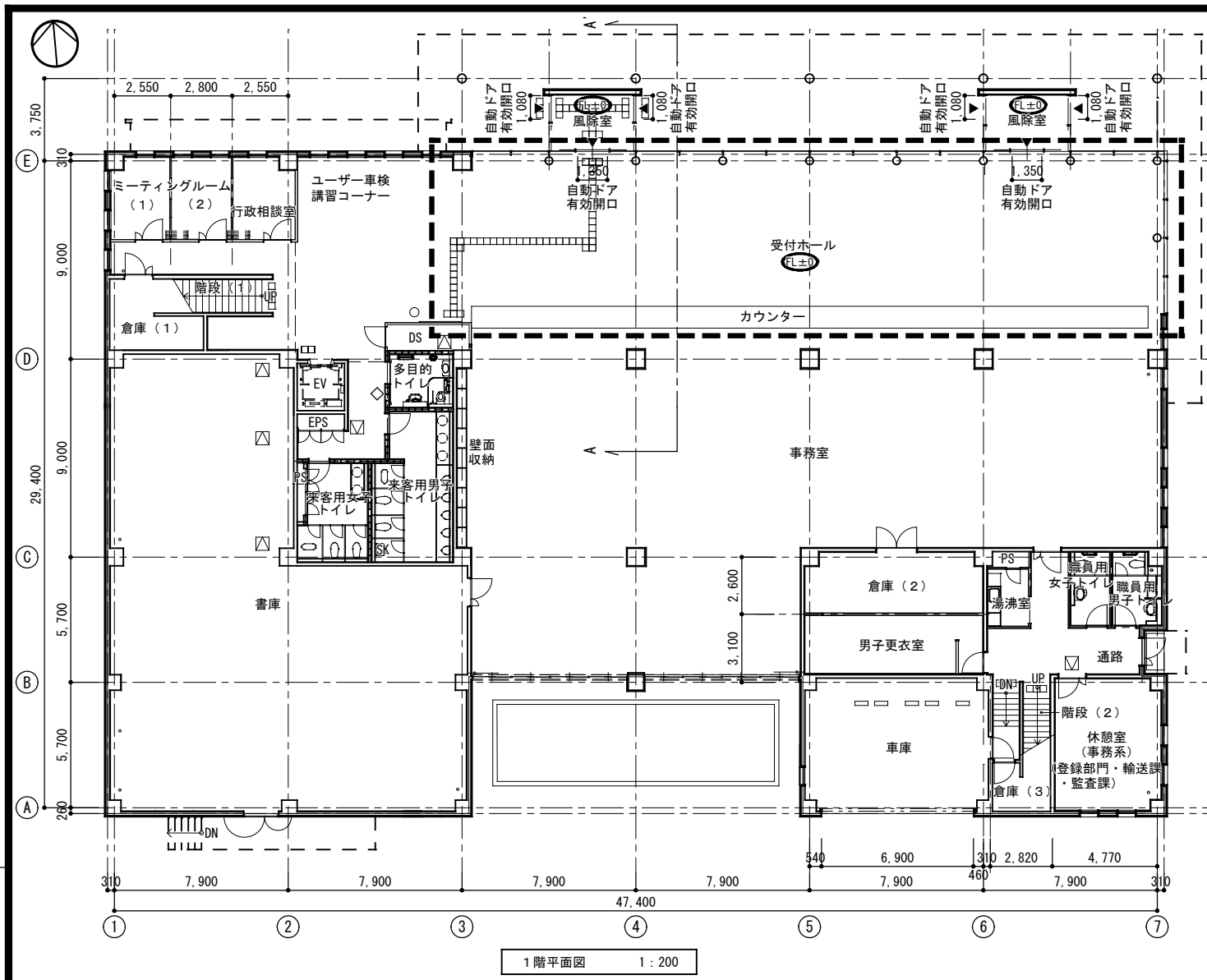
25. 11.

図 面 名

電気設備特記仕様書

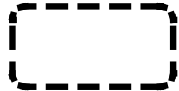
— 02

株式会社 創建設計



内部仕上表

階	室名	床		巾木		壁			天井			天井高	備考
		下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装		
既設1階	風除室	C	マット	—	—	—	—	—	LGS	PB t=9.5の上、 岩綿吸音板 t=9	—	塩ビ	点字ブロック
	受付ホール (吹抜)	C	塩ビタイル	—	—	—	—	—	LGS	PB t=9.5の上、 岩綿吸音板 t=9	—	塩ビ	点字ブロック、天井点検口、 昇降式がウライト照明・非常照明 (ともに撤去後やり替え)
	事務室	OA	タイルカーペット	巾木	—	—	—	—	LGS	石膏ボード t=9.5	—	塩ビ	—



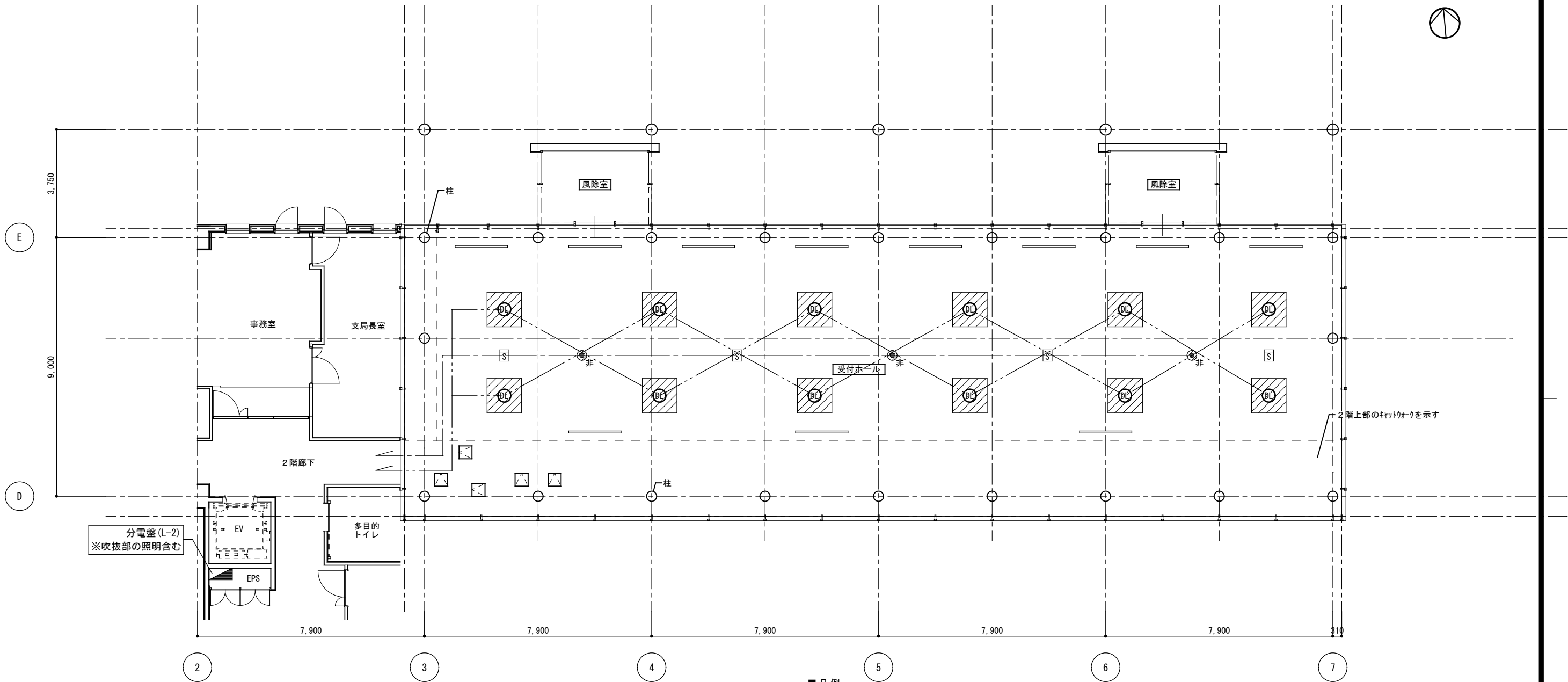
左記表示内は工事範囲を示す。

工事名		工事番号	
近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事		25. 11.	
図面名		1:200, 1:100 (A2→A3<71%>に縮小)	04

現 況

***** 注 意 事 項 *****

- ・既存のダウンライト照明(計12ヶ所)及び非常灯(計3ヶ所)は全て撤去とする。
- ・配線は既存利用可能であれば既存利用とし、やり替えが必要となる場合は事前に現地担当職員と協議の上、決定するものとする。
- ・既設の昇降スイッチの位置及び盤については現地を事前に確認すること。



吹抜部天井配置図 1:100

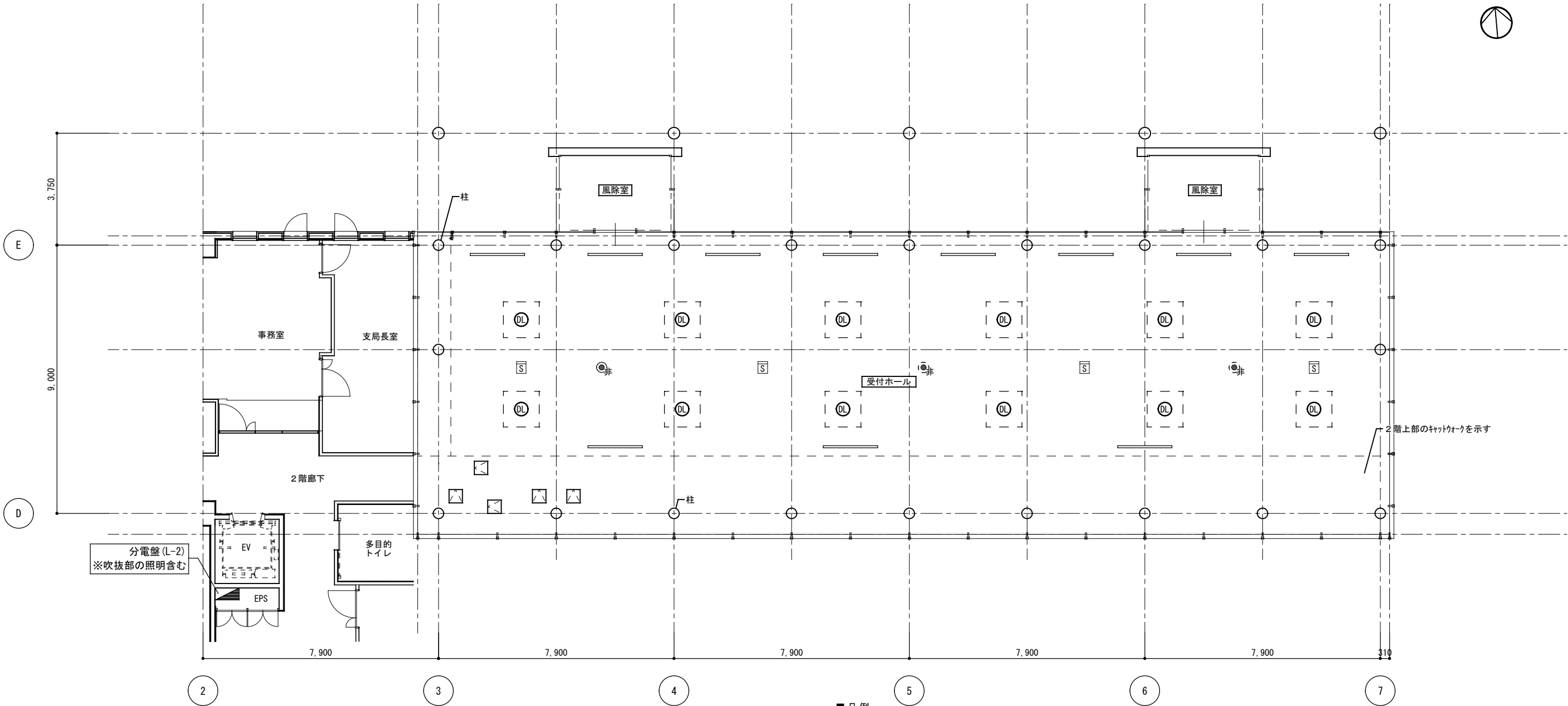
■ 凡 例

- 天井点検口450口 (7ℓミ枠) 5カ所 既設
- ダウンライト照明 (東芝ライテック株式会社:品番DD-30188B、MF300・L-J2/BU-PS) 安定器昇降式オートリレー付き 12ヶ所
- 非 非常灯 高天井用 3ヶ所
- Ⓢ 煙感知器
- 空調吹出口
- 吹抜部の天井仕上げは岩綿吸音板 t=9.0 (PB t=9.5捨貼)
- 左記表示範囲内は既設照明の撤去部分を示す
また、左記表示範囲内のダウンライト照明の既設天井仕上げは全て撤去とし、後に同じ仕上材で復旧すること (非常灯は機器のやり替えのみ)

工 事 名		工事番号	
近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事		25.	11.
図 面 名		1:100 (A2→A3<71%>に縮小)	05

改修

***** 注 意 事 項 *****
・ダウンライト照明は高天井用とし、既存照明と同等以上の照度を確保すること。
また、落下防止ワイヤー付きとすること。



DL 高天井用ダウンライト 2000形 計12ヶ所

LED内蔵くワコンコア（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
調光可能範囲（約5%～100%）、5000K、Ra70、拡散タイプ
器具光束：17900lm、消費電力：130.5W、電圧：100～242V
光束維持時間：60000時間（光束維持率80%）、光束遮光角15度
反射板（上部）、反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上）
枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）
埋込穴：φ400
パナソニック 高天井ダウンライトXND9940SSKLR9

●非 非常灯 特高天井用ダウンライト 計3ヶ所

LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付
φ100特高天井用（～16m）、30分間タイプ
非常灯評定番号：LAL-E-006
レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）
パナソニック NNF B93608C

吹抜部天井配置図 1：100

- 凡 例
- 天井点検口450口（7ℓミ枠）5カ所 既設
 - DL ダウンライト照明（調光無し）12ヶ所
 - 非 非常灯ダウンライト照明 高天井用 3ヶ所
 - S 煙感知器
 - 空調吹出口
 - 吹抜部の天井仕上げは岩綿吸音板 t=9.0 (PB t=9.5捨貼)

工 事 名		工事番号	
近畿運輸局 大阪運輸支局 吹抜部照明 取替工事		25.	11.
図 面 名		1：100 (A2→A3<71%)に縮小)	06